

県内で「麻しん」と「風しん」の発生が続いています！

令和元年6月17日

鎌倉保健福祉事務所 保健予防課

県内では、昨年夏から風しんの発生が続き、今年に入ってから麻しんの発生も続いています。どちらも発熱と発疹の症状が現れる病気で、感染力が強く、有効な予防方法として2回のワクチン接種が勧められています。麻しん・風しんにかかったことがなく、予防接種歴もない方は、MRワクチン（麻しん風しん混合ワクチン）の接種を検討しましょう。

麻しんや風しんを疑う症状がみられる場合は、事前に医療機関にその旨を電話連絡し、医療機関の指示に従って受診してください。また、人込みを避け、咳エチケット（マスク着用）を心がけるなど、感染を広げないように注意しましょう。

風しんの抗体検査・ワクチン接種についての助成制度があります。詳しくは、下記の神奈川県ウェブサイトをご覧ください。

麻しん・風しんの特徴

麻しん		風しん
発熱、咳、鼻水など風邪症状の後、2～3日経ってから39度以上の高熱、発疹が出現。 肺炎、中耳炎や、1000人に1人の割合で脳症を発症します。	症状	発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節腫脹。 妊娠初期に妊婦が感染すると、出生児が先天性風しん症候群を発症する可能性があります。
患者の咳・くしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことや、ウイルスの付いた手で口や鼻を触れることで感染。	感染経路	患者の咳・くしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことや、ウイルスの付いた手で口や鼻を触れることで感染。
10～12日(最長3週間)	潜伏期間	2～3週間
発症1日前から発疹出現後4～5日目頃まで	患者からうつる時期	発疹出現の前後約1週間
麻しん含有ワクチン接種(2回) 患者と接触後72時間以内のワクチン接種が発病予防に有効 *妊娠中の方、2ヵ月以内に妊娠希望の方は接種できません。	予防	風しん含有ワクチン接種(2回) *妊娠中の方、2ヵ月以内に妊娠希望の方は接種できません。
解熱後3日を経過するまで出席停止。	登校の目安	発疹が消失するまで出席停止。

麻しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

風しんとは（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

神奈川県風しん撲滅作戦 特設ページ（抗体検査、予防接種の助成制度など）

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/cnt/f420454/>

神奈川県衛生研究所 感染症情報センター（感染症情報、発生届の基準・用紙）

http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm

